

別紙様式 4

病院整備計画の概要書【地域医療構想調整会議用】

1 医療機関の名称・所在地・所在二次保健医療圏

医療機関の名称：医療法人尚寿会狭山尚寿会病院

所在地：埼玉県狭山市大字水野 6 0 0 番地

所在二次保健医療圏：埼玉県西部保健医療圏

2 開設者の名称・所在地

開設者の名称：医療法人尚寿会 理事長 寶積 英彦

所在地：埼玉県狭山市大字水野 5 9 4 番地

3 医療機関の現状

病床数

病床機能区分	病床種別	許可病床数	稼働病床数	非稼働病床数
回復期	療養	9 2 床	9 2 床	0 床
慢性期	療養	2 0 6 床	2 0 6 床	0 床
慢性期	一般	5 5 床	5 5 床	0 床
計		3 5 3 床	3 5 3 床	0 床

病床利用率（平均）

一般病床	療養病床	地域包括ケア病床	回復期リハビリテーション病床
93.1	94.7	87.5	91.0

病院整備計画申出者（法人名） 医療法人尚寿会（狭山尚寿会病院）

4 開設等の目的、整備方針、必要性、地域医療構想調整会議の議論との整合性

医療法人尚寿会は、昭和54年2月に大生病院を開設して以来、45年にわたり埼玉県西部医療圏域において地域の回復期から慢性期医療を支えてきました。平成16年には認知症専門病院としてあさひ病院を開設し、平成27年には埼玉県西部医療圏域の認知症疾患医療センターの指定を受けました。地域における認知症の鑑別診断や市民への啓もう活動、そして医師会と協力し認知症診断力の向上を図るべく、開業医の先生方に向けた研修会など幅広い活動を通じて、地域医療体制の充実に全力で取り組んできました。大生病院とあさひ病院は東西方向に隣接しており、共に心療内科・老年精神科（認知症）の標ぼう科目を掲げ、認知症患者の相談から外来・入院の受入れを行ってきました。両院の精神科領域には明確な機能の相違が無いことから、近隣医療機関からの紹介時には戸惑いの声も聞こえていましたので、令和6年6月に両院を統合して706床の狭山尚寿会病院として運営をしております。医局・看護部・リハビリテーション科・検査科・放射線科・栄養科・医療相談部門及び事務部門等を全て統合することにより、迅速な医療提供、かつ幅広い対応が可能となり、受診の近接性が向上しました。統合の際には埼玉県西部医療圏域で過剰とされている精神病床67床を縮小返還しております。

現在、狭山尚寿会病院A棟（旧大生病院）では精神科病床53床を運営しておりますが、昭和54年に建築した建物であり療養環境の整備に限界を感じております。今回の整備計画にて回復期並びに慢性期病棟を増床整備することが可能であれば、狭山尚寿会病院A棟の精神病床30床を返還（23床はC棟を改修移設予定）し、老朽化の進んでいるA棟建物を改修することにより療養環境を大幅に改善することができます。建物改修後のA棟では、現在のB棟1階で運営している回復期リハビリ病棟42床を移転、8床増床し50床で運営する計画です。回復期リハビリ病棟の増床と環境整備により急性期からの転院を今まで以上に受け入れることができ、地域ニーズに応えることが可能になると考えております。

同時に、5カ月間狭山尚寿会病院として運営し、この地域では高齢者の入院透析が必要であると感じています。現在透析治療は、在宅にて通院の困難な患者やこの地域では少ない回復期リハビリ病棟対象の患者の施行しておりますが、病床数や病棟環境の為、お断りしているか待機頂いているのが現状です。慢性期病棟を増床してB棟1階にて慢性期病棟（透析患者病棟）42床を整備することにより、現在はお断りしている透析室までの移動の困難な患者、呼吸器を使用している寝たきりの患者の受入れも可能となります。同時に透析患者の更なる迅速な受け入れ、感染症発生時の療養支援体制強化、職員の負担軽減を図ります。

また、第8次埼玉県地域保健医療計画の中で求められている内科疾患・精神科疾患と併用した歯科治療や精神科における慢性期入院の役割を当

病院整備計画申出者（法人名） 医療法人尚寿会（狭山尚寿会病院）

院は担っております。現在は内科・精神科疾患で入院し、必要な方の歯科治療をしていますが、増床することができれば歯科治療の必要な内科疾患等の患者の受入れも可能となります。

今回の回復期並びに慢性期病棟の増床整備により今まで以上に地域に求められた医療提供体制を構築できると考えております。引き続き回復期並びに慢性期の充実に全力で取り組んでまいります。

5 開設等の計画の具体的内容

(1) 整備する病床の機能・数 整備計画病床 50 床

病床機能区分*1	医療機能*2	病床種別	入院基本料 特定入院料	病床数
回復期	—	療養	回復期リハビリテーション病棟入院料 1	8 床
慢性期	—	療養	療養病棟入院基本料 1	42 床
計	—	—	—	50 床

*1 高度急性期、急性期、回復期、慢性期のいずれかの病床機能を記載

*2 がん医療、脳卒中医療、心血管疾患医療、救急医療、災害時医療、周産期医療、小児医療、感染症医療、在宅医療など整備する病床が担う医療機能を記載

病院整備計画申出者（法人名） 医療法人尚寿会（狭山尚寿会病院）

(2) 整備する病床数の根拠

①病床数の考え方

○回復期リハビリ病棟では、脳血管等46%・骨折が43%・外科手術後等11% 内透析患者月に平均2～4件受け入れしています。
先に相談のあった予定入院のベッドを確保していると、その後の急性期からの転院希望日に対応できない為待機にならずにお断りしている状況です。
回復期リハビリ病棟では、ベッドが8床増えることにより、地域のニーズに応えられます。
対象入院待機患者数 $8 \times \text{平均在院日数 } 76.9 \div 365 = 1.68$

○慢性期では、常に15人以上の待機があります。待機の中には透析患者も2～3件含まれており42床透析病棟を整備することにより、待機している透析患者が減少され、さらに各慢性期病棟に入院している透析患者のベッドが空き透析以外の患者の待機を減らすことができます。
対象入院待機患者数 $15 \times \text{平均在院日数 } 464 \div 365 = 19.07$

仮に承認病床数が整備（希望）計画病床数を下回る場合の意向（いずれかを囲んでください。）

計画申出を取り下げる ・ 計画変更して整備を行う
(37床以上であれば整備を行う)

【変更後の病床数の根拠】

回復期8床（申請通り）慢性期29床 他の病棟より13床移動し42床とするように調整する。

病院整備計画申出者（法人名） 医療法人尚寿会（狭山尚寿会病院）

②-1 増床する病棟の概要

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
1 階東病棟	42 床	回復期	77 日	91.0%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	回復期リハビリテーション病棟入院料 1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
新設病棟	42 床	慢性期		
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	療養病棟入院基本料 1	
診療科 リハビリテーション科、内科、循環器内科、消化器内科				
患者の受入見込み (※名称、数値(人数、病床数に占める割合)について具体的に記入してください。)				
【増床前】		【増床後】		
埼玉心会病院から年間 217 人 (33%) 自院外来と地域の診療所から年間 190 人 (29%) 入間川病院から年間 47 人 (7%) 防衛医科大学年間 26 人 (4%) 埼玉医科大学グループ年間 22 人 (3%) 至聖病院年間 16 人 (2%) 介護施設から年間 37 人 (6%) 訪問診療を行う患者数 年間 24 人 (4%) その他の医療機関 年間 78 件 (12%) 年間相談件数 1597 件中入院数 657 件		埼玉心会病院から年間 260 人 (33%) 自院外来と地域の診療所から年間 220 人 (28%) 入間川病院から年間 55 人 (7%) 防衛医科大学年間 35 人 (4%) 埼玉医科大学グループ年間 27 人 (3%) 至聖病院年間 20 人 (3%) 介護施設から年間 46 人 (6%) 訪問診療を行う患者数 年間 32 人 (4%) その他の医療機関 年間 95 件 (12%) 50 床増床により年間入院数 790 件 慢性期は回転しない病棟もあるので 2 割増とした		

病院整備計画申出者（法人名） 医療法人尚寿会（狭山尚寿会病院）

医療（介護）連携見込み （※具体的に記入してください。）	
【増床前】 ○紹介元：埼玉石心会病院、入間川病院、防衛医科大学、埼玉医科大学、至聖病院、所沢美原総合病院、さやま総合クリニック、さやま地域ケアクリニック、むさしの園、わが家入曽… ○紹介先：埼玉石心会病院、老健愛、特養 福寿の里、わが家入曽、むさしの園、さやま園、つつじの園、老健かがやき…	【増床後】 ○紹介元：埼玉石心会病院、入間川病院、防衛医科大学、埼玉医科大学、至聖病院、所沢美原総合病院、さやま総合クリニック、さやま地域ケアクリニック、むさしの園、わが家入曽… ○紹介先：埼玉石心会病院、老健愛、特養 福寿の里、わが家入曽、むさしの園、さやま園、つつじの園、老健かがやき…

②-2 既存病棟の概要

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
1 階東病棟	42 床	回復期	77 日	91.0%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	回復期リハビリテーション病棟入院料 1	
2 階西病棟	48 床	慢性期	450 日	97.1%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	療養病棟入院基本料 1	
3 階東病棟	54 床	慢性期	377 日	88.8%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	療養病棟入院基本料 1	
4 階西病棟	50 床	慢性期	533 日	99.7%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	療養病棟入院基本料 1	
4 階東病棟	54 床	慢性期	297 日	96.7%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	療養病棟入院基本料 1	

病院整備計画申出者（法人名） 医療法人尚寿会（狭山尚寿会病院）

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
2階東病棟	55床	慢性期	594日	93.1%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	特殊疾患病棟入院料1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
3階西病棟	50床	回復期	46日	87.5%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	地域包括ケア病棟入院料2	
診療科 内科、循環器内科、消化器内科、リハビリテーション科、				
診療実績 （※整備する病床に関連する実績を記載してください） ○回復期：急性期での治療を終えた在宅復帰を目指す患者を受け入れ疾患に応じた支援をしています。自宅や社会に戻ってからの生活を少しでも元の状態に近づける為のリハビリテーションを専門に入院初日から行い、在宅復帰率は、76%以上です。起床時から就寝時までの間、食事や整容、排せつなど日常的な動作も含めた生活そのものをリハビリととらえサポートしています。リハビリは疾患に応じ、運動器疾患は、骨折などで生じた痛み、関節の硬さ、筋力低下を改善するような施術・運動を行います。脳血管疾患は、脳や神経の障害により起こる麻痺やバランスの障害、高次脳機能に対して少し特別な関わり方が必要になり疾患により対応を変えています。 内科に強いリハビリテーション科の医師や病棟の専従スタッフに加え、薬剤師・管理栄養士を専任で配置・歯科外来を標榜しているので、栄養・口腔面の面など全身管理を行いながら、在宅復帰に向けてチーム医療を行っております。 ○慢性期：急性期での治療を終えた医療依存度が高く、療養を継続的に行う必要のある患者を受け入れしています。医療改定前は、医療区分2・3が全体の90%を占めており6月の医療改定後も85%の医療依存度の高い患者を多く受入れ、医療依存度の低い患者に関しては、在宅復帰を支援しています。 透析医療も実施しており、急性期医療を終えて在宅復帰できない（通院透析の困難な）患者を受入れ、急性期病院の平均在院日数に貢献しております。				

病院整備計画申出者（法人名） 医療法人尚寿会（狭山尚寿会病院）

③ 医療（介護）連携における課題・問題点と対応

○当法人グループは、併設に介護老人保健施設・訪問看護ステーション・在宅支援センター2ヶ所・地域包括支援センター2ヶ所・サービス付き高齢者向け住宅・リハビリ特化型デイがあり、退院後の在宅・介護施設への移行は円滑にできています。

回復期からの退院支援時、通常の患者に加え生保・困難事例などの利用者に関しても、ご本人の状況、ご家族を含めた意向がしっかりと反映された情報共有ができています。その為行政担当者やケアマネジャーとの連携がスムーズで状況に応じた介護保険サービスに繋がられています。

(3) 計画敷地

	面積	取得予定時期	取得状況	備考
取得済	25,861 m ²		所有・借地	
仮契約済	m ²		所有・借地	
取得予定	m ²		所有・借地	
計	m ²			
取得見込等 (取得予定の場合)	新たな敷地の取得予定はなし。			

病院整備計画申出者（法人名） 医療法人尚寿会（狭山尚寿会病院）

(4) 計画建物

工事種別	新築 ・ 増築 ・ 改修 ・ その他（ ）
概要	<p>狭山尚寿会病院B棟1階の慢性期42床分の病棟は、現在回復期リハビリ病棟を運営しています。回復期リハビリ病棟に変更する前は、療養病棟で運営していたので、改修の必要はありません。</p> <p>回復期の8床分は、現在の回復期リハビリ病棟42床と合わせて狭山尚寿会病院A棟（精神病棟）建物を改修後に50床で運営する計画です。</p>

(5) 医療従事者（※確保予定の人員には、増員となる人数を記載してください。）

職種	現在の人員（人）			確保予定の人員（人）		
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	
		実人数	常勤換算		実人数	常勤換算
医師	21	25	5.31	0		
看護師	124	24	11.76	3		
准看護師	77	21	12.98	0		
看護補助者	165	55	20.47	0		
理学療法士	29	2	1.02	0		
言語聴覚士	7	0	0	0		
作業療法士	38	3	1.68	0		
その他	124	70	28.19	0		
計	585	200	81.41	0		

確保状況・確保策、確保スケジュール

<p>【医師】</p> <p>充足している為不要</p> <p>【看護師】</p>

病院整備計画申出者（法人名） 医療法人尚寿会（狭山尚寿会病院）

精神科1病棟（認知症疾患病棟 看護20：1 介護25：1）を休床するため、そちらの人員を配置し2～3人確保すれば充足いたします。
53床中30床を休床とし、23床に関しては、6病棟に2～4床ずつ配分するので、基準上の人員配置は満たしております。

令和8年3月 鹿児島鳳凰高等学校卒業生 常勤看護師2名入職予定

【リハビリ職】

現在約70人のリハビリ職員が所属しているので充足

【その他】 予定なし

(6) スケジュール

No.	項 目	計画年月	備 考
1	開設（変更）許可（医療法）	令和7年8月	
2	建築（着工）	令和7年9月	改修
3	建築（竣工）	令和8年3月	改修
4	医療従事者の確保	令和8年4月	常勤看護師2名入職予定
5	使用許可（医療法）	令和8年5月	
6	開設（増床）	令和8年6月	

* 計画年月の表記は「和暦」で記載すること。